

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		2013年 7月 16日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市東神足1-10-1		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 村田土地建物 株式会社 代表取締役社長 藤田能孝
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004	
適用範囲	株式会社 村田製作所 本社 ほか 60箇所	
導入年月日	2006年 3月 20日	
認証番号	724100	
基本方針	私たちは、人類社会の真の豊かさを願ってセラミックスの特性を活かした電子材料・電子部品を主として開発・生産し、世界に供給しています。しかし、事業活動や製品そのものが、意図せずに地球環境に影響を与え、結果として生物多様性にも何らかの影響を与えていることは否めません。この影響を真摯に受け止め、創業の理念である社是の実践行動の一つとして、全組織を挙げて環境負荷の低減に取り組みます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	温暖化防止 ：目的 15FのCO2排出削減目標を原単位（在籍人員）で10F比▲10%削減とする。 ：目標 13FのCO2排出量を前年比▲1%削減する。	
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー（CO2削減） ・照明の調光と間引き及びLED化の推進 ・熱源稼働時間の削減 ・外気の導入制御（中間期はフル活用、冷暖房時に抑制） ・冷温水ポンプへのインバーター化 ・自然エネルギー（太陽光発電システム）の有効活用	
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー（CO2削減） ・照明の調光と間引きは実施済 ・熱源稼働時間の削減（中間期の稼働時間を短縮済） ・外気冷房の導入を中間期に実施済 ・自然エネルギー（太陽光発電システム）の導入した。 ・LED照明の導入推進（エントランス実施済、ELV前の通路ほか）	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	温暖化防止の目的・目標に対し、計画通り進捗している。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	直近年度における関連法規に係る遵守性については、定期的に内部監査されており、これまでに違反及び行政当局からの指摘は無い。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	EMSの評価・見直しについては毎年1回検討している。24年度は節電対応継続により効果が出たが、25年度も前年比-1%を目標値に施策を見直した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。